

報告事項1

各種事業進捗報告について

令和6年11月29日提出

東広島市地域公共交通会議
会長 塚井 誠人

1 提案理由

事業の円滑な遂行、より効果を高める工夫、関連事業などとの具体の連携方法などについて意見交換を行うために、各種事業の進捗の報告を行うものである。

2 各種事業進捗報告について

別紙「資料2」のとおり

各種事業進捗報告について

【豊栄地域】 豊栄そよかぜ号

○豊栄地区公共交通検討会議を通じた運行の見直し検討

- ・ 交通手段を通じて生活の質の改善を目指すため、豊栄の交通について検討を進めている。自治協の全体会議への提言書の提出が当面のゴール。今年度中に運行計画の素案を作成し、提言書としてとりまとめ、自治協へ提出する予定。
- ・ 月に1回の頻度で検討会議を開催し、運行の見直しと改善を行っている。11月には「車がなくても安心して暮らせる豊栄を目指して」をテーマに公共交通セミナーを開催。第一部では豊栄そよかぜ号の試乗会を行い、第二部では講演会と勉強会を実施した。運行の見直しに向けた検討の基盤が整いつつある。

▽会議の様子

▽会議メンバーの試乗会

▽講師を招いて勉強会



【志和地域】 志和ホテル交通

○志和町地域交通運行協議会による志和ホテル交通の運行、運行改善の検討

- ・ 月に1回の頻度で運行協議会を開催し、志和ホテル交通の運行改善や利用促進について話し合いを進めている。現在は、1月からの運行改善に向けて、見直し内容などを検討中である。

▽会議の様子



○利用者の掘り起こしと既存の路線バス（志和循環線）との共存に取り組む

- ・ 志和ホテル交通（デマンド交通）の利用促進を目的として、利用の手引きの全戸配布や、サロンでの利用説明会の開催を行っている。しかし、利用者の掘り起こしには少し苦戦している状況。また、主に通学や通勤を担っている路線バス（志和循環線）と志和ホテル交通の運行が一部重複しており、両者の共存が課題となっている。運行協議会では、路線バスとの共存を図るための運行改善策や、移動に困っている人が便利に利用できるようにするため、初回利用のハードルを下げる工夫などについて知恵を出し合っている。

【小谷地域】おまるめ山バス

○小谷小学校区おまるめ山バス運営協議会によるおまるめ山バスの運行

- ・ 本年9月まで、月に1回の頻度で市の支援のもと運行協議会を開催し、おまるめ山バスの運行改善や利用促進について話し合いを進めてきた。9月より、協議会で検討した新たな運行サービスへ変更。
- ・ 10月からは市の支援を受けずにおまるめ山バスの運営を実施している。

○運営協議会の地域を巻き込む力が秀逸

- ・ 運営協議会で挙げられた様々なアイデアが実行され、おまるめ山バスがじわりと地域に浸透。協議会メンバーの取り組みを楽しむ気持ちが沿線施設に波及。

▽乗り方を学び、すぐに乗ってみる乗り方教室



▽子供に人気ペーパークラフト



▽おまるめ山バスおでかけ動画



▽郵便局からのメッセージ



▽おまるめ山バスクッキー

(ときおり店頭に並ぶ)



▽運動会の新種目



【広島大学 MOD 共創会議】戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)

- ・ 9月9日、ミライノ+にて、広島大学 MOD 共創会議戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) の研究会が開催された。
- ・ 「モビリティで人々のつながりが生まれる未来のまち」をテーマにしたワークショップを通じて、MOD プロジェクトの取り組みに関する説明が行われた。また、開発中の地域モビリティ資源ダッシュボードやまちぐるみシミュレーターの社会実装に向けた課題、要望、改善点について意見交換が行われた。さらに、まちづくりへの市民理解を促進するツールや政策への応用など、具体的な利用ユースケースの共有も実施された。

▽モビリティで人々のつながりが生まれる未来のまち



▽ワークショップの様子



※広島大学 MOD 共創会議戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) の詳しい情報は、右の URL を参照ください。 <https://its.hiroshima-u.ac.jp/about-us/>

【東広島市と西日本旅客鉄道株式会社】

次世代交通システム「自動運転・隊列走行 BRT※」によるまちづくり

